

ごみを減らそう！



上記の写真は、大和川一斉清掃（3月2日実施）の時に集められたごみです。ごみは環境へ悪影響を及ぼすだけでなく、処分の問題として町の財政へ負担をかけています。

ごみの減量や温室効果ガス（大気を構成する成分のうち、温室効果をもたらすもの）の排出削減のため、ご家庭などで行える事業を紹介します。



ご家庭などで行えること

●資源（缶・びん・ペットボトル・雑がみなど）を分別

天然資源から物を作るよりリサイクルして物を作った方が、エネルギーの使用量が少なくなり、温室効果ガスの減少につながります。

●公共交通機関の利用

公共交通機関は人を多く乗せられるため、自家用車に比べて1人当たりの温室効果ガス排出量が少なくなります。また、町のデマンド交通 *tawamomo* を利用すると、乗り合い可能なうえ電気自動車で運行していますので、移動における温室効果ガス排出量はゼロです。

●省エネ性能の高い家電製品を選ぶ

供給される電気は化石燃料による火力発電が多くを占めています。使う電気を減らすことで、電気料金の削減にもつながります。

●再生可能エネルギーの導入

再生可能エネルギー（太陽光や風

環境管理課 ☎ 33・5003

力、地熱、水力、バイオマスなどは発電時に温室効果ガスをほとんど排出しません。太陽光発電システムや太陽熱温水器の設置、再生可能エネルギーを利用した電力会社への切り替えを行うことで地球温暖化防止につながります。



町の取り組み

町では、職員による清掃活動やごみの削減のための各種取り組みを行っています。

ごみの収集・リサイクルに関する次の取り組みについて4・5ページで紹介しています。

▼ふれあい収集サービス

▼資源回収団体への助成金など

▼食品資源循環事業

▼各種資源の収集



ごみの減量



行政サービスの充実 環境保全

ごみ処理施設の管理運営経費などは、やまと広域環境衛生事務組合を構成する3市町（御所市・田原本町・五條市）で負担しています。この負担金は前年に持ち込んだごみの量に応じて決まります。そのため、ごみの減量によって負担金が減れば、その分を必要な他の行政サービスに活用できるようになります。

家庭から出される1日1人あたりのごみの量は、皆さんのご協力のおかげで県平均を下回り、減少傾向にあります（グラフ①）。

一方、リサイクル率については県平均の半分程度にとどまっています（グラフ②）。リサイクルを推進すれば、まだまだごみの量を減らす余地があります。リサイクルに回してもえるごみを減らせば、温室効果ガスの排出量の削減にもつながります。

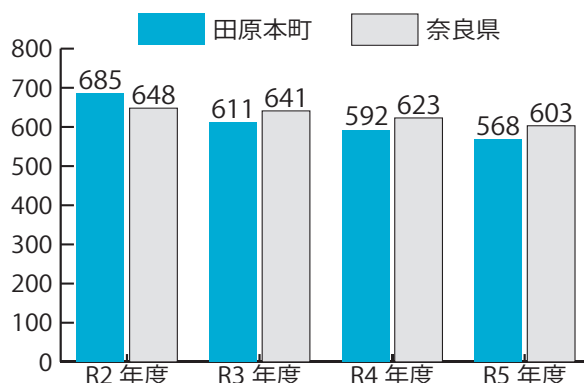
環境資源も町の財政も限りあるものです。適切な資源ごみの分別やごみの減量にご協力をお願いします。

皆さんのご協力のおかげで負担金が減少しました

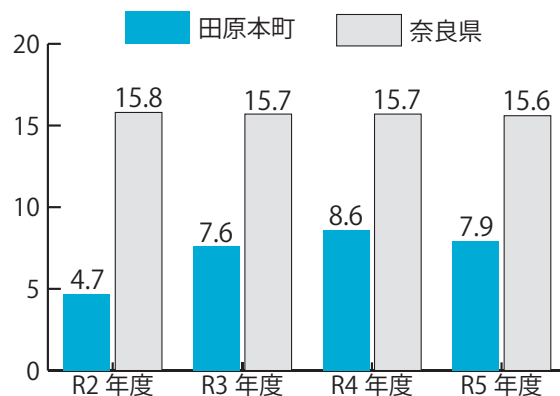
やまと広域環境衛生事務組合構成団体負担金

R4年度 3億 2037万円 → R5年度 3億 1067万円
約970万円減少

①家庭の1日1人あたりのごみ量(単位: g / 人日)



②リサイクル率の推移 (単位: %)



出典：一般廃棄物処理実態調査（環境省）

清掃活動を長年
続けている人に
お聞きしました



山本雅俊さん

清掃活動を通じて環境への意識が高まりました
声掛けを継続することで自治会内にもごみ分別の意識が広がりました

所属しているパナソニック(株)OB会の活動の一貫として、地元を流れる寺川を綺麗にしようと大和川一斉清掃活動へ継続して参加しています。

原動機付自転車が捨ててあったり、食べ物があつたりと、拾っても毎回ごみがあるということに驚きます。しかし、皆さんの活動のお陰で堤防へのポイ捨ての量は減ったと実感しています。

清掃活動を通じて多くのごみを目の当たりにして、環境への意識も高まりました。堤防沿いに落ちているごみに

気づいたら自然と拾うようになりましたし、出掛け先でもごみは捨てずに持ち帰っています。

清掃活動は他の活動の場でも意識を広げていくきっかけにもなると思います。例えば、私の所属する自治会では、もえないごみにもえるごみが混ざっていたり、ペットボトルにラベルが付いたままだったり分別に苦労していました。しかし、その都度声掛けをさせてもらうことで、今では皆さん綺麗に分別していただけるようになりました。

ふれあい収集サービス

町内にお住まいで、高齢・障がいなどの理由により、家庭から排出されるごみを自ら集積場に出すことが困難な人のために、収集員がご自宅へごみの収集に伺うサービスです。

4月から対象を拡大しています。詳細は広報たわらもと5月号か下記ホームページをご覧ください。

町ホームページ
ふれあい収集サービス



ごみの収集 リサイクル

ごみの収集やリサイクルのために取り組んでいる事業の一部を紹介します。

ごみの減量のためにも、皆さんのご協力をお願いします。

その他の取り組みに
ついてはこちら



食品資源循環事業

モデル地区のモニター住民や学校給食の食べ残しを資源として収集し、堆肥にすることでごみを減量する取り組みです。できた堆肥と花を協力いただいた住民や学校に配布し、育てていただくことで、資源を循環させることができます。

モデル地区

黒田、宮古、西八尾、富本、西新町、保津、中八尾、八尾池之内、新町、十六面

※上記地区内でのモニター参加者を随時募集しています。申し込みはお住まいの地区の自治会長または、環境管理課（清掃センター）へ

モニター参加の3つのメリット

- 町指定ごみ袋の購入費用が減る
- 堆肥と花苗がもらえる
- 町のごみ処理費を減らして、防災や福祉などのまちづくりに！



町ホームページ
生ごみの分別収集・堆肥化を、モデル地区、学校と協力して実施中！

助成金など

ごみの減量及び資源の有効利用のため、助成金やごみ袋の交付を行っています。各事業の詳細は町ホームページをご覧ください。

資源回収団体助成金

資源回収団体助成金交付団体として登録された団体へ、回収状況に応じた助成金を交付しています。



ボランティア清掃ごみ袋無料交付

ボランティアで清掃を行う団体・個人へごみ袋を交付しています。交付には登録が必要です。



家庭用生ごみ処理機の貸出・助成

生ごみ処理機の試用のための貸出と、購入時の助成を行っています。



貸出



助成

各種資源の収集

紙や古着などを資源ごみとして収集しているほか、町内各地で拠点収集を行っています。収集後は下記のようにさまざまなもののへりサイクルされます。

古着

▶もう一度着られるもの

そのまま「古着」としてリサイクルされています。国内ではファッション性の高いものの人気が高く、国外では夏物の衣料が気温の高い国々にたくさん出荷されています（主に東南アジア）。



▶綿でできた古着（肌着など）

工場で油をふき取ったりする「雑巾」に。

▶純毛や化学繊維でできている古着

「反毛^{はんもう}」としてリサイクルされます。圧縮され板状にされたものが自動車の防音材や建築資材などに。

古紙

（新聞、段ボール、雑誌、紙パック、雑がみ）

新しい紙製品の原料に。



ペットボトル

新しいペットボトルの原料や、卵パック、作業着などに。



カン

アルミ缶はアルミ缶や自動車部品の原料に、スチール缶は鉄製品の原料に。



びん

埋め戻し材や舗装材、ガラスブロック、ガラスストーンなどに。



リサイクル 拠点収集一覧



収集場所や引き取りについての詳しい条件は、町ホームページをご覧ください。

使用済み使い捨てカイロ

収集後の処理

中身を取り出して水質浄化剤や土壌改良剤として加工製造されます。

使用済み食用油

引き取り後の処理

精製し、バイオディーゼル燃料や飼料、塗料などにリサイクルされます。

ボールペン・シャープペンなど

収集後の処理

工場にて分解、樹脂素材ごとに分別し筆記具本体の一部に再利用されます。

使い捨てコンタクトレンズ 空ケース

収集後の処理

粉碎・加工され、再生ポリプロピレン素材へと生まれ変わります。

使用済み歯ブラシ

収集後の処理

各種工程を経た後、高温で溶かし、粒状のペレットに加工されます。その後、着色や成形し、定規や植木鉢へ生まれ変わります。

インクカートリッジ

収集後の処理

ICチップを取り外し貴金属を回収します。プラスチックは洗浄などを経て、新たなインクカートリッジなどの材料となります。

テプラカートリッジ

収集後の処理

ケースは粉碎し、再びケースの材料に使用されます。一部の部品は洗浄などを行った後、新たなテープカートリッジケースとなります。

使用済み小型家電

収集後の処理

含まれる有用金属は破碎や精錬などの工程を経て、新たな製品の原料として再利用されます。

電池

収集後の処理

有害ごみとして収集・選別し、製鉄原料や亜鉛地金原料、肥料原料、セメント原料などに再利用されます。

ペットボトルキャップ

収集後の処理

リサイクル繊維などに加工されます。仕分け拠点の障がい者雇用創出へ貢献しています。